盃

漢那浪笛

青空文庫

記念のための瀬戸焼の盃、
淋しい日の慰めに、とり出して、
泡盛をつぐ。

器（うつは）の色も影も変らない、
酒の味ひも、
あゝ思出多き記念の盃。

底に沈んだ私のふけた顔、
ひよつとのぞくと、
思はず手掌がふるへた。

記念のための瀬戸際の盃、
私は君を手にして、
喜びと悲しみの二つ味ふ。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」
国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
初出：「沖縄毎日新聞」
　　1911（明治44）年1月10日
※初出時の署名は「浪笛生」です。
※初出の新聞で作品名として扱われている「盃」を表題としました。
※表題は、底本では「南の友へ【三】」の見出しのもと、5字下げて2行取りの横罫の下に記載されています。
入力：坂本真一
校正：良本典代
2017年1月12日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

盃

漢那浪笛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/